

The 2 Chome Times 2025年 4月号

NO1のプレミアムストリートをめざして

NO323号.

2025年・4月・25日



発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 4月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★ミチガーデンの桜の元で

アートストリートに収蔵されているアート作品「條痕のある石」の作者である山口牧生先生ですが、息



女の山口さとこ氏が管理されている「ミチガーデン」が亀岡にあります。以前にこのタイムズでもご紹介致しましたが、山口牧生先生は石の彫刻家としてこの地で、多くの作品を制作されました。そして、さとこ氏のご母堂様である山口三智さん



は詩人として多くの詩を作り、牧生先生の作品を背景に、自然を愛し、美しい庭を造りました。それが「ミチガーデン」です。4月5日に「ミチガーデンの桜の元で」と題して演奏会“Hot Rod Chocolate”～ 団篤史 エレキトリックギター + 大城敦博 ヴァイパーバイオリン～が開かれ、鑑賞に行って来ました。ヴァイパーバイオリンは簡単に説明するとエレクトリックバイオリンで、その音を聴くのは初めてでした。大城敦博さんの演奏はHotというより極めてCoolでした。曲目も最初の“**What a wonderful world**”から始まり、ロシア民謡、Earth Wind & Fire、ブルークラス、そして沖縄の空気が一杯詰まったオリジナル曲など変化に富んでおり、休憩を挟んだ2時間余りがとても素晴らしい時間となりました。沖縄のイントネーションを軽く含んだ大城さんと団さんの軽妙で愉快的なトークも音楽に花を添え、満開ではありませんでしたが、桜の花の下での一刻は格別でした。

ミチガーデンは京都、亀岡にあり、少し遠く感じますが高速道路を利用すると、意外に近く、神戸からでも1時間余りで到着します。お出かけになる価値は十分あると確信しています。皆様お誘い合わせの上、一度訪ねてみてはいかがでしょうか。なお大城さんの活動に御興味のある方は下記のHPで知ることができます。

大城敦博 琉球ヴァイオリン&VaGu HP <https://ryukyuishviolin.com>

山口さとこ ミチ・ガーデン 京都府亀岡市西別院町万願寺大堂 21-67

★第16回「Thanks 神戸・おきなわ ドウシグワアの会」

「KOBE 夢・未来号・沖縄」プロジェクトにご協力頂いている沖縄関係者の皆様へ感謝の意を込めた「第16



回 Thanks おきなわ・神戸ドウシグワアの会」が4月15日、パシフィックホテル沖縄で開催され、神戸沖縄ともに100人を超える計219人が参加し、親睦を深めました。交流の中では、ご提供いただいた乾杯用スパークリングワインやシークワサー果汁ジュース、泡盛が振る



舞われ、神戸沖縄のゆかりの品々を贈り合う「お楽しみ抽選会」や、「創作エイサー那覇太鼓」による演舞、「うたばす」によるライブコンサートなど盛りだくさんの内容で大きな賑わいを見せ、盛況な宴となりました。神戸と沖縄の交流の

今後の更なる発展を期待させる楽しい旅となりました。参加された関係者の皆様に篤くお礼申し上げます。

★生田神社 春祭り

諏訪山地区がご奉仕致しました今年の生田神社の春祭（生田祭）はこの4月13日(日)と15日(火)に斎



行されました。この祭は、生田神社における年に一度のご例祭で、雄大な神輿（みこし）を担ぎ、盛大かつ厳粛に当地区を御神幸（おわたり）するお祭りです。生田神社の氏子地域は神戸市中央区と兵庫区の広域に亘り、昨年までは11地区から成り立っていましたが、今年から



港島地区が加わり、計12地域となりました。そして午前中は新しく加わった港島地区で初めてこの祭りが披露されました。

行列は、御先太鼓の雄壮かつ軽快な響きの中、猿田彦神役（行列の先頭役で清祓いをする方位除の神）を先頭に、梶原武者（源平の戦いの際、生田の森の合戦にて活躍をした源氏方の武将）、獅子舞、大人神輿（100名を超える若き男性が勇壮に練り歩く）からなる行列が数か所の神受所で厄除けや繁栄の儀式を行うものです。例年ですとお稚児さん（装束をまとい化粧を施した可愛い幼児）、子供みこしも加わりますが、今年は悪天候の為に行列には加わりませんでした。



そして三宮の神受所は例年通りインフォメーション前に祭壇が用意され、氏子三宮地区の繁栄・平穏を祈る恒例の「神受所祭」が行われました。雨風で決して良い条件ではなかったですが、雨に濡れながらも皆さんの熱気は冷えることもなく、祭りを楽しんでおられる様子が印象的でしたし、「今年も生田さんのお陰で、三宮が元気です」という一年になれば良いですね。

★編集後記

生田神社の春祭りですが、湊川神社の宮司で兵庫県神社庁の庁官である垣田宮司がそのご挨拶の中で、少子化や高齢化、さらに過疎化により、全国的にも神社の数が減少していると述べられ、祭りの催行も年々困難になってきていることが紹介されました。ところが減少中とはいえ、今なおコンビニエンスストアの数（2024年11月現在、5万5692店）より多い約8万の神社が全国各所に鎮座しているそうです。それに対し、宮司など神職の数は約2万人。実は、神職はその人数の4倍にあたる神社を管理しており、それを可能にしているのが複数の神社の兼務で、多いと30社以上を兼務している宮司もいるのだそうです。

私が個人的によく知っている神職の方から「複数の神社を兼務している」とお聞きした時は、最初その意味が良くわかりませんでした。そういった事情があるわけです。このような困難な状況にありながら、氏子さんとも協力して、2016年に生田神社の主祭神様がポートアイランドの地で勧請されて分社されました。生田神社の分社ができるのは、1800年を超える歴史のなかで初めてのことでした。その結果、新たに氏子地域となった港島地区で最初に祭りが披露された訳です。私達の街や氏子を静かに見守って下さる神様が鎮座されている生田神社、その歴史と伝統を守って行かなければなりません。



（生田神社の分社はイケアのすぐ横です）

美しい街 共に歩む ビルメンテナンス

つるかめ管財株式会社 078-371-3589

